

長谷川 淳 著作目録

名古屋大学教育学部技術教育学研究室編

凡例

- ・著訳書、論文、記事、座談会での発言等を発表年代順に配列した。
- ・文献は、現物を確認したうえで掲載した。なお、欠落頁等については、頁数の後にその旨を記した。
- ・雑誌の巻号数の表記については、同一雑誌内では統一するように努めたが、一部の雑誌については、その雑誌の表記に従った。
- ・旧字体は新字体に改めた。

1948年

- ・「職業科工業教科書について」『文部時報』第847号、1948年3月、pp.7-10.
- ・「都市と職業科のあり方」『職業科——新しい中学』第1巻第3号、1948年6月、pp.8-10.
- ・「中学工業講座—1—」『職業科——新しい中学』第1巻第8号、1948年11月、pp.27-28（およびp.26）.

1949年

- ・「職業科教育の新しい試み——ジョブ・アナリシス」『職業科——新しい中学』第2巻第1号、1949年1月、pp.3-11.
- ・「中学工業講座—3—」『職業科——新しい中学』第2巻第2号、1949年2・3月、pp.28-29.
- ・「職業科教育の新らしい試み——ジョブ・アナリシス」『商工教育資料』2・3号、1949年3月、pp.8-12.
- ・訳 フリックランド, V. C. 『職業分析』実業教科書株式会社、1949年9月、187p.
- ・「ロシアが生んだ世界技術の革新者——ダニレフスキーの講演筆記の抄録」『科学史研究』第12号、1949年10月、pp.38-43.
- ・「家庭科に何をのぞむか」『家庭科教育』第23巻第12号、1949年12月、pp.12-15.

1950年

- ・「工業教育」編集代表者 豊沢登『体系教育学大辞典』岩崎書店、1950年3月、pp.680-685.
- ・「職業分析とカリキュラム」『教育科学』第30号、1950年4月、pp.7-14.
- ・「工業地域の職業科の計画について」『職業指導』第23巻第4号、1950年4月、pp.9-11.
- ・「工業教育」『教育大学講座21・職業教育』金子書房、1950年8月、pp.127-179.
- ・「ワークショップの手引 職業分析について 解説」『時事通信・内外教育版』第224号、1950年9月6日、pp.7-8.
- ・「技能の教育」『職業教育』第1巻第10号、1950年10月、pp.7-11.

- ・「技能の習得が計画されているか」『職業指導』第23巻第12号、1950年12月、pp.1-4.

1951年

- ・「高等学校職業科の新しい指導 工業教育課程の新しい構想」『文部時報』第886号、1951年6月、pp.2-6.
- ・「都市工業地域の学習指導計画について」(文責在記者)『職業指導』第24巻第6号、1951年6月、pp.22-25.
- ・地引友次との分担執筆「開発計画と教育の課題 テストケース 愛知県と北海道をみる」『時事通信・内外教育版』第264号、1951年6月21日、pp.3-7.
- ・「靴屋の学校——一定時制高校のあり方——」『産業教育』第1巻第3号、1951年8月、pp. 24-28.
- ・分担執筆(分担箇所不明) J.L.Vandegrift監修、T.T.T.中央委員会編『産業教育における訓練の仕方』日本勤労者教育協会、1951年9月、241p.

1952年

- ・「中学校の工業教育」『中学教育技術 音楽 体育 職・家』第1巻第10号、1952年1月、pp. 143-145.
- ・「工業教育の現状と問題」『産業教育』第2巻第1号、1952年1月、pp. 58-63.
- ・「工業教育の現状と問題(2)」『産業教育』第2巻第2号、1952年2月、pp.18-22.
- ・「職業・家庭科の学習指導法について——プロジェクト・メソッド——」『職業教育』第3巻第2号、1952年2月、pp.7-10.
- ・「工業地域の職業科の計画について」『職業指導』第25巻第4号、1952年4月、pp. 9-11.
- ・「産業教育の総合計画」『産業教育』第2巻第6号、1952年6月、pp. 23-28.
- ・「資料 工業教員養成のプログラム」『産業教育』第2巻第7号、1952年7月、pp. 38-41.
- ・「職業家庭科と職務分析」『職業・家庭』通巻11号、1952年9月、pp.1-7 (pp.6-7欠).
- ・座談会「普通教育における職業教育 上原専禄先生を囲んで」他の出席者：杉江清、厚沢留次郎、大埜隆治、島田喜知治、山本キク、水谷統夫『産業教育』第2巻第10号、1952年10月、pp. 2-22.
- ・「高等学校における職業教育の現状」『教育』第13号、1952年11月、pp. 92-98.
- ・「職業・家庭科の批判」『カリキュラム』第47号、1952年11月、pp.26-27.

1953年

- ・「ポリテフニズムの動向」『職業と教育』通巻14号、1953年2月、pp.20-23.
- ・座談会「産業教育と職業・家庭科の問題」他の出席者：杉江清、石川勝蔵、杉山一人、清原道寿、(司会)池田種生『職業と教育』通巻15号、1953年3月、pp.5-16.
- ・「生活技術と生産技術」『職業と教育』通巻16号、1953年4月、pp. 1-3.

- ・「職業・家庭科と産業教育」『職業指導』第26巻第4号、1953年4月、pp. 9-12.
- ・「教育のための職業分析」『教育心理学講座 第6巻 職業指導の心理』金子書房、1953年4月、pp.136-166.
- ・「お茶と狸」『産業教育』、第3巻第5号、1953年5月、pp. 24-25.
- ・「職業家庭科のねらう技能の程度について」『職業指導』第26巻第5号、1953年5月、pp. 8-10.
- ・「職業・家庭科と『家庭』の学習」『家庭科教育』第27巻第6号、1953年6月、pp. 11-14.
- ・「職業・家庭科における職業教育」『青年心理』第4巻第2号、1953年6月、pp.20-24.

1954年

- ・「産業教育全国協議会の概況」(文責在記者)『職業と教育』通巻24号、1954年1月、pp. 5-11.
- ・『工業教育』岩崎書店、1954年4月、130p.
- ・「中学校におけるポリテフニズム——その教育内容——」『職業と教育』通巻33号、1954年10月、pp. 5-8.

1955年

- ・「第一次建議の説明」『職業と教育』通巻37号、1955年2月、pp. 1-2.
- ・「研究発表における四つの類型 川崎市御幸中学校の研究発表に関連して」同上、pp. 19-21.
- ・「現行教科書の欠陥・問題点はどこにあるか 職業科」『教育評論』第4巻第5号、1955年6月、pp. 16-19.
- ・座談会「職業指導の位置づけ」他の出席者：池田種生、後藤豊治、杉山一人、鈴木寿雄、清原道寿『職業と教育』通巻43号、1955年8月、pp. 34-40.
- ・「憂うべき職業・家庭科」『職業と教育』通巻46号、1955年12月、pp. 6-8.

1956年

- ・「産業教育の歴史的背景」『講座 教育社会学7 産業教育の基本問題』東洋館出版社、1956年1月、pp. 1-27.
- ・分担執筆(分担箇所不明)『産業教育七十年史』文部省、1956年1月、1152p.
- ・「小・中・高校の生産技術教育をどう進めるか」『教育評論』第5巻第9号、1956年9月、pp.42-46.
- ・「明治以来の技術教育」宮原誠一編『生産教育』国土社、1956年10月、pp. 119-146.
- ・「一般教育としての生産技術教育」『教育評論』第5巻第10号、1956年10月、pp.52-57.
- ・「職業・家庭科は何を教えるか」『教育』第64号、1956年10月、pp. 6-11.
- ・「職業・家庭科教育の研究をどのようにすすめるか」『教育と産業』通巻56号、1956年11月、pp. 1-4.

- ・「職業科の原理」清原道寿、後藤豊治との共同執筆、産業教育研究連盟編『職業科指導事典』国土社、1956年12月、pp. 1-38.
- ・「職業科の指導計画」鈴木寿雄との共同執筆、同上、pp.305-321.

1957年

- ・「イギリスの技術教育白書」『教師の友』第57号、1957年8月、pp.58-59.
- ・「新指導要領をどう受けとめるか——三十二年度職・家科教育計画の留意点——」『教育と産業』通巻65号、1957年9月、pp. 13-16.
- ・「科学技術教育振興の基本問題」『職業指導』第30巻第9号、1957年9月、pp. 1-4.
- ・「生産技術の教育を深めるために」『教育』第82号（臨時増刊号）、1957年12月、pp. 66-73.

1958年

- ・「科学・技術・教育政策の動き」『教育』第83号、1958年1月、pp.10-14.
- ・「科学技術教育の振興について」『カリキュラム』第110号、1958年2月、pp.22-25.
- ・「技術教育の問題点」『数学教室』第38号、1958年3月、pp.21-26.
- ・「職業科教育改造の立脚点」清原道寿編『技術教育の実践（職業編）』明治図書、1958年4月、pp. 25-37.
- ・「共同研究・技術科」『教育評論』（文責は海老原治善）第70号、1958年5月、pp. 32-41.
- ・「米・ソの技術教育」鈴木朝英編『比較教育』国土社、1958年6月、pp. 185-218.
- ・「中学校技術科の構想とその問題点」『カリキュラム』第114号、1958年6月、pp.22-24.
- ・「生産技術教育にどうとりくむか——自主的教育研究をすすめるために——」『教育評論』第75号（臨時増刊号）、1958年10月、pp. 111-113.
- ・「生産技術についての問題点」細谷俊夫編『中学校 技術・家庭科の新教育課程』国土社、1958年11月、pp. 76-88.
- ・「学習指導要領・技術・家庭科の批判」『現代教育科学』第1巻第2号、1958年11月、pp. 112-116.
- ・「職業高等学校における技術教育—工業教育」生活科学調査会『産業技術教育講座 2』、1958年11月、pp.74-93,
- ・「フルシチョフ提案の意義と役割について」『教師の友』第66号、1958年12月、pp. 31-33.
- ・座談会「なぜ科学技術教育は問題になったのか」他の出席者：五十嵐顕、佐藤興文、星野芳郎、福井幸雄、（編集部）木田尚武『現代教育科学』第1巻第4号、1958年12月、pp.10-27.

1959年

- ・「中学校技術・家庭（職業・家庭）」日本教職員組合教育文化部編『日本の教育課程——学習指

導要領はどう変わったか』国土社、1959年1月、pp.347-356.

- ・「第六分科会 生産技術教育と家庭科教育をどうすすめるか」『東京の教育』（第八次）、1959年1月、pp.115-126.
- ・「技術科における実践」『現代教育科学』第1巻第4号、1959年1月、pp. 88-92.
- ・「シンポジウム・科学教育の設計」他の出席者：国分一太郎、遠山啓、島村福太郎、真船和夫、波多野完治、富山小太郎、大森平生、中原正木、武藤徹、(司会)田中実『理科教室』第2巻第1号、1959年1月、pp. 12-23.
- ・「労働教授の方法」(訳出に協力)ダニロフ、イェシポフ著 矢川徳光訳『教授学 下』明治図書、1959年3月、pp. 280-334.
- ・田中実との対談「理科教育と技術教育」(文責編集部)『理科教室』第2巻第7号、1959年7月、pp. 4-9.
- ・「技術革新はどんな教育を要求するか」日本教職員組合編『新教育課程批判』、1959年8月、pp. 83-87.
- ・「技術科(職業科)」日本教職員組合編『新教育課程批判』、1959年8月、pp. 168-176.
- ・「技術教育の方法」岡 邦雄、三枝博音との共編『講座 科学技術教育 下巻 科学技術教育の実際』明治図書、1959年9月、pp. 171-225.
- ・「技術科と社会経済的知識」『技術教育』通巻87号、1959年10月、pp.4-9.
- ・「教育と生産労働との結びつき」『カリキュラム』第11巻第11号、1959年10月、pp.8-9.
- ・「ソビエトの新教育課程」『理科教室』第2巻第11号、1959年11月、pp. 13-15.

1960年

- ・「技術科」日本教職員組合編『国民のための教育課程』、1960年1月、pp. 138-153.
- ・「職業高等学校における技術教育をどう進めるか」『教育評論』第92号、1960年2月、pp.34-35.
- ・「技術教育の再検討」『理科教室』第3巻第6号、1960年6月、pp. 4-7.
- ・「科学技術教育振興政策の方向」『現代教育科学』第26号(臨時増刊号)、1960年9月、pp. 1-6.
- ・『高校新教育課程の批判』の編集・執筆(分担箇所不明)、日本教職員組合・日本高等学校教職員組合編、1960年11月.

1961年

- ・「科学技術教育の問題」『国民教育研究資料』第3号、1961年2月、pp.73-76.
- ・「技術の発達と技術教育」『岩波講座 現代教育学 11 技術と教育』岩波書店、1961年7月、pp. 20-38.
- ・「技術教育の役割と目標」同上、pp. 78-81.

- 「技術学習の技術学的基礎」同上、pp. 108-117.
- 「教材論 総論」同上、pp. 136-150.
- 「機械の教材」同上、pp.181-188.
- 「技術・家庭科 何をどう教えるかという視点からの教材研究」『現代教育科学』第4巻第9号、1961年8月、pp.71-80.
- 「職業訓練のための作業分析」桐原葆見・永丘智郎編『職場教育——教科方法研究資料[3]職業訓練と作業分析の理論と方法——』東洋経済新聞社、1961年9月、pp. 61-98.
- 訳 イリア・ソロモノフチ・ベシキン『ボール・ベアリング物語』理論社、1961年11月、220p.

1962年

- 「ソビエト教育学はなにを問題にしているか 総合技術教育とプログラム」『ソビエト教育科学』No.1、1962年1月、pp.87-93.
- 「技術革新と世界の技術教育」『国民教育研究所論稿』No.4、1962年1月、pp.29-33.
- 座談会「現代社会と科学教育の課題」他の出席者：国分一太郎、中原正木、富山小太郎、(司会)真船和夫『理科教室』第5巻第2号、1962年2月、pp. 12-17 (およびp.11).
- 「技術教育のための作業分析の問題点」『労働の科学』第17巻第4号、1962年4月、pp. 14-18.
- 「ジョン・デューイ『学校と社会』における技術教育論」『教育』第141号、1962年4月、pp. 74-80.
- 「ソビエトのオートメーション」『教育』第143号、1962年6月、pp.78-84.
- 「ロシアにおける技術教育の発展」『ソビエト教育科学』No.4、1962年7月、pp.32-41.
- 「ソ連邦共産党の新綱領と技術の発展」『国民教育研究』No.9、1962年8月、pp.43-47.

1963年

- 訳 A.R.ホール「軍事技術」シンガー他編『技術の歴史』第4巻、筑摩書房、1963年2月、pp.
- 訳 J. G. ジェンキンス、R.A.サラマン「職人の道具——1500年頃～1850年——」シンガー他編『技術の歴史』第5巻、筑摩書房、1963年5月、pp. 89-108.
- 「科学技術の発展と教育学の課題——教授過程にサイバネティックスを適用する試み——」『国民教育研究所論稿』No. 6、1963年9月、pp. 54-58.
- 駒林邦男、宮本敏雄との共訳 ランダ、L.N. ヤグロム、I.M. 『サイバネティックスと教育学』明治図書、1963年11月、120p.

1964年

- ・「科学技術の発展と授業の改造」講座 授業研究別巻『授業研究運動』、1964年5月、pp. 38-49.
- ・「サイバネティックスと教育学（第1回）」『ソビエト教育科学』No.15、1964年6月、pp. 95-99.
- ・「サイバネティックスと教育学（第2回）」『ソビエト教育科学』No.16、1964年8月、pp.98-103.
- ・「産業革命期におけるイギリスの技術教育」『科学史集刊』第1号、1964年9月、pp. 27-35.
- ・「サイバネティックスと教育学（第3回）」『ソビエト教育科学』No.17、1964年10月、pp.133-137（および p. 147）.

1965年

- ・「サイバネティックスと教育学（第4回）」『ソビエト教育科学』No.19、1965年2月、pp.128-133.
- ・「サイバネティックスと教育学（第5回）」『ソビエト教育科学』No.20、1965年3月、pp.101-105.
- ・「技術教育」『世界大百科事典』第5巻、平凡社、1965年4月、pp.573-576.
- ・「職業訓練方法の再検討」『日本労働協会雑誌』第78号、1965年9月、pp.2-6.
- ・「機械の歴史」ロベール・フラール『図説=科学の歴史 2』恒文社、1965年9月、105p.
- ・「サイバネティックスと教育学（第6回）」『ソビエト教育科学』No.23、1965年12月、pp.111-116.

1966年

- ・「革命前ロシアの技術教育」『科学史集刊』第3号、1966年1月、pp.27-39.
- ・「バウマン工科大学について」同上、pp.41-44.
- ・「職業教育」『世界大百科事典』第11巻、平凡社、1966年2月、pp.588-589.
- ・「総合技術教育」『世界大百科事典』第13巻、平凡社、1966年6月、p.634.
- ・「総説」板倉聖宣との責任編集『日本科学技術史体系・第10巻 教育3』第一法規出版、1966年6月、pp.11-16.
- ・「新制大学の発足と高等教育の拡充」同上、pp.359-396.
- ・「高等学校における技術教育」同上、pp.397-418.
- ・「中学校普通教育への技術的教科の導入」同上、pp.419-434.
- ・山崎俊雄との共訳 クールトラント・カンビー「航空の歴史」『図説=科学の歴史 9』恒文社、1966年11月、113p.

1968年

- ・今野喜清、他共訳 スミス、K.U. スミス、M.F.『教育工学入門 上』明治図書、1968年6月、294p.

- 今野喜清、他共訳 スミス, K.U. スミス, M.F. 『教育工学入門 下』 明治図書、1968年7月、282p.
- 「教育内容研究は敗戦から何を学んだか——技術教育の場合〈その1〉——」 『教育』 第225号、1968年8月、pp.52-57.
- 「教材・教具の発達」 『現代教育研究 5 教材と教具』 日本標準テスト研究会、1968年11月、pp.16-24.
- 「教材・教具の研究の分野と動向 インストラクション・シート」 同上、pp.336-339.
- 「研究の展望」 同上、pp.362-365.

1969年

- 「四日市における公害の実状とたたかひの現状」 『社会主義』 第205号、1969年1月（1968年12月との合併号）、pp.82-85（およびp.90）.
- 「学習の能率化と人間教育の課題——教育工学の観点から考える——」 『現代教育科学』 第12巻第1号、1969年1月、pp.5-10.
- 井上光洋と共訳 C.E.シャノン、W.ウィーヴァー 『コミュニケーションの数学的理論』 明治図書、1969年5月、164p.
- 土井正志智、大西清との共著 『工業技術教育法』 産業図書（発行 教研）、1969年7月、248p.
- 「サイバネティックスと言語 上」 『国語の教育』 No.17、1969年9月、pp. 58-66.
- 「サイバネティックスと言語 下」 『国語の教育』 No.18、1969年10月、pp. 88-95.
- 原正敏、佐々木享との共同執筆 「技術教育」 『講座 現代民主主義教育』 第4巻、青木書店、1969年12月、pp.198-205.

1970年

- 「〈各科教授法の検討〉技術」 『教育』 第246号、1970年3月、pp.50-53.
- 「教育改革——技術教育の立場からの提言——」 『教育学研究』 第37巻第4号、1970年12月、pp.33-38.

1971年

- 「連載講座 第1回 サイバネティックと教育」 『授業システム研究』 第1巻第1号、1971年11月、pp.161-179.

1972年

- ・「戦後日本の技術教育史（1）」『技術教育研究』第1号、1972年1月、pp.2-8.
- ・「連載講座 第2回 サイバネティックと教育」『授業システム研究』第2巻第1号、1972年2月、pp.161-179.
- ・「戦後日本の技術教育史（2）」『技術教育研究』第2号、1972年7月、pp.40-45.

1973年

- ・「戦後日本の技術教育史（3）」『技術教育研究』第3号、1973年1月、pp.32-38.

1974年

- ・「戦後日本の技術教育史（4）」『技術教育研究』第5号、1974年1月、pp.25-30.
- ・「教育制度検討委員会報告によせる——技術教育の立場から——」『教育評論』第299号、1974年1月、pp.61-64.
- ・「カリキュラム現代化の視点」『技能と技術』Vol. 9、1974年1月、pp.2-4.
- ・「ソビエトの総合技術教育について」『総合技術教育と現代日本の民主教育』鳩の森書房、1974年4月、pp.29-44.
- ・訳「中学校における総合技術教育の諸問題に関する討論の総括に寄せて」同上、pp.198-209.
- ・「技術教育と労働の教育——総合技術教育にふれて」『技術教育研究』第6号、1974年5月、pp.1-4.

1975年

- ・「職業教育の基礎教育とはなにか」『高校生活指導』第28号、1975年1月、pp.18-27.
- ・「戦後日本の技術教育史（5）」『技術教育研究』第8号、1975年8月、pp.46-50.
- ・「戦後日本の技術教育史」『家庭科教育』第49巻第9号、1975年8月、pp.14-17
- ・訳・解説「現段階の総合技術教育の理論の諸問題」『現代教育科学』第18巻第12号、1975年11月、pp.115-131.

1976年

- ・「工業技術教育の歴史」土井正志智、池本洋一、大西 清との共著『三訂版 工業技術教育法——その原理と実際』産業図書、1976年3月、pp. 1-27.
- ・「工業技術教育の役割と目標」同上、pp. 28-32.
- ・「作業分析と指導計画」同上、pp. 61-83.

1977年

- 訳「生産教授の教授学の基礎」、『現代教育科学』第20巻第1号、1977年1月、pp.113-131.
- 「宮津さんの実践報告に寄せて」『技術教育研究』第11号、1977年1月、p.53.
- 『技術教育の方法 序説（オペレーション法と作業分析）』技術教育研究会、1977年4月、30p.
- 「技術教授学への展望」メヂカルフレンド社編集部編『看護技術論』メヂカルフレンド社、1977年7月、pp.251-297.
- 「大谷さんの実践報告に寄せて」『技術教育研究』第12号、1977年8月、pp. 8-9.
- 訳「生産教授のシステム」、同上、pp.10-16.

1978年

- 「技術教育の歴史」土井正志智、鈴木寿雄、池本洋一、宮本陸治との共著『技術科教育法』産業図書、1978年2月、pp. 1-31.
- 「技術科教育の役割と目標」同上、1978年2月、pp. 32-40.

1980年

- 「ソビエト旅行の印象」『子どもの遊びと手の労働研究』通巻81号、1980年5月、pp.16-17.
- 「ソビエト小学校の工作教育(1)」『子どもの遊びと手の労働研究』通巻85号、1980年9月、pp.1-5.
- 「ソビエト小学校の工作教育(2)」『子どもの遊びと手の労働研究』通巻87号、1980年11月、pp.15-19.

1981年

- 「ソビエト小学校の工作教育(3)」『子どもの遊びと手の労働研究』通巻89号、1981年1月、pp.15-19.
- 「ソビエト小学校の工作教育(4)」『子どもの遊びと手の労働研究』通巻90号、1981年2月、pp.16-21.

1982年

- 「かわりびょうぶ かくれびょうぶ」<ぼくのさんすう・わたしのりか 13> え・高谷英信、岩波書店、1982年3月、28p.

1983年

- 「技術科教育の内容と方法」『たのしくできる中学校技術科の授業』あゆみ出版、1983年5月、pp. 22-38.

1984年

- 「職業訓練と作業分析について」『教科方法研究資料（3）職業訓練と作業分析』訓練教科方法研究室、1984年3月、pp.1-9.

1985年

- 「技術教育と矢川さん」五十嵐顕、大槻健編『矢川徳光 人と仕事』あゆみ出版、1985年3月、pp.207-212.

1986年

- 「稲沼さんの思い出」稲沼さんを偲ぶ会『稲沼瑞穂さん』、1986年3月、pp.56-64.